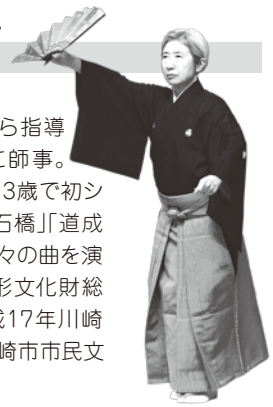
平成29年度 第27回

夏休み 能楽体験・鑑賞教室

予定講師　体験のときに指導してくださる先生方です。

鵜澤 久

うざわ ひさ



観世流能楽師・シテ方
父・能楽師 鵜澤 雅から指導を受ける。観世寿夫に師事。3歳で初舞台「猩々」、13歳で初シテ「吉野天人」。「乱」「石橋」「道成寺」「鸚鵡小町」など数々の曲を演能。平成16年重要無形文化財総合指定を受ける。平成17年川崎市市民文化賞受賞。川崎市市民文化大使。

鵜澤 光

うざわ ひかる

観世流能楽師・シテ方
鵜澤 雅（祖父）及び 鵜澤 久（母）、九世観世銕之丞に師事。3歳で初舞台「老松」13歳で初シテ「猩々」。「石橋」「猩々乱」「道成寺」などの曲を演能。大学などでの講演、海外公演、海外でのワークショップ、一般の能楽愛好者へのレッスンも行っている。

■仕舞・謡	観世流シテ方	鵜澤　久（重要無形文化財総合指定）
	観世流シテ方	鵜澤　光
■笛	一噌流笛方	藤田　貴寛
■小鼓	観世流小鼓方	鳥山　直也
■大鼓	高安流大鼓方	佃　良太郎
■太鼓	観世流太鼓方	徳田　宗久（重要無形文化財総合指定）

鑑賞の演目について

能「小鍛冶（こかじ）」のあらすじ…

ある夜夢のお告げを受けた一条帝は、名工として有名な三条小鍛冶宗近に剣を作らせるように、勅使の橘道成に命じます。宗近は、自分に劣らぬ技量を持つ相槌がいないため剣を作ることができないと訴えますが、道成から重ねて命じられ、かくなる上は神頼みと、稲荷明神に参詣します。すると童子が現れ、君の恵みによって剣を作ることができると言い、力を貸すといって、稲荷山へ消えてゆきます。
屋敷に帰った宗近がしめ縄を張った壇をしつらえて礼拝していると、稲荷明神が狐の姿で現れます。宗近の相槌となって剣を打ち上げた明神は、完成した宝剣を勅使に捧げて稲荷山へと帰って行くのでした。

お申込み先　FAX 044-222-8817（川崎市文化財団）

下記のフォームにご記入のうえ、上記のFAX番号までお送りください。通常ハガキでもお申し込みを受け付けます。

ふりがな			年　齢
お　名　前			歳
ご　住　所	〒		
お電話番号	（　　）	FAX番号	（　　）
体験を希望する時間帯（午前か午後のいずれか）に○をつけてください。 28日　午前 ・ 午後 ／ 鑑賞のみ ※最終日の能の鑑賞のみにご参加の方は「鑑賞のみ」に○を付けてください。			足袋の貸出を希望する方はサイズをご記入ください。 cm

＊7月28日（金）の体験を希望する時間帯（午前の部・午後の部）をお忘れなくご記入ください。
＊保護者、一般の方のご参加も歓迎します。
＊小さなお子様がご参加される場合、保護者の方の付き添いは可能ですが、三日目の鑑賞の会場に入られる際は、保護者の方も2000円の鑑賞券が必要です。お席を確保されたい場合は、事前にお申し込みくださいますようお願いいたします。
＊締切は7月7日（金）ですが、定員に満たない場合には締め切り後もお申し込みを受け付けます。
＊締切後、お申込みいただいた方全員に受講に関するご案内をお送りします。
＊個人の情報は、この教室の運営目的以外には使用いたしません。